

(別記様式第 15 号)

## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害木処理事業
事業費	3,052,500 円 (うち支援金: 3,052,000 円)	

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市では守るべき松林を絞り込み、伐倒くん蒸等で松くい虫被害の対策を行っているが、補助対象区域外でも松くい虫被害は発生しており、放置しておくとするべき松林への被害の拡大を招く恐れがある。また、道路、建物、墓地等の構造物周辺への発生も多く、対応に苦慮しているところである。

#### (2) 本事業の目的

補助対象区域外で発生している松くい虫被害木のうち、守るべき松林への被害拡大防止のための伐倒処理等や、倒木時に被害が出る可能性がある被害木の伐倒処理等を行う。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田市一円

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 伐倒駆除等

(4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画(平成 30~令和 4 年度)

令和 4 年度までに 616 本の松くい虫被害木の伐倒駆除等。

令和 3 年度実績

松くい虫被害木 156 本の伐倒駆除等。



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

守るべき松林への被害拡大の防止、松くい虫被害木の倒木による事故等の防止。

### (2) 継続性

例年実施している事業であり、松くい虫被害の対策として継続的に行っていく必要がある。

### (3) 普及性

住民要望に基づいて実施する事業のため、普及性は担保されている。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

本年度は100本の計画に対し156本の伐倒駆除等を行った。登山道等の伐倒が多かったため本数が増えたこともあり、松くい虫被害拡大や倒木等による事故の防止に効果があった。通算の伐倒駆除等の本数は572本である。

### (2) 課題

松くい虫対策事業を継続して実施していることもあり、年々事業費は少なくなっているが、松くい虫被害木は依然として発生しており継続して対策を続ける必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和4年度以降も、松くい虫被害を防止するため、当支援金を活用していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

上田市

	事業項目	事業名
2	木を活かした力強い産業づくり	地域産材活用事業
事業費		594,000 円 (うち支援金: 594,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市は 5,900ha 余りの山林所有者であり、市有林整備については毎年計画的に森林整備を進めているが、私有林については適切な森林整備が実施できていない状況にある。

#### (2) 本事業の目的

県産材を利用した木製ベンチを市施設に設置し、市民等に対して県産材の普及、啓発を行う事で森林の有する多面的機能の周知や、森林施業への意欲を持ってもらう。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 上田第二中学校ほか 7 施設

(2) 対象者 上田市

(3) 実施方法 木製ベンチの設置

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画 (平成 30 ~ 令和 4 年度)

令和 4 年度までに木製ベンチ 40 基の設置

令和 3 年度計画 (実績)

木製ベンチ 9 基の設置



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

県産材を利用した木製ベンチと解説パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発を図る。

### (2) 継続性

多くの住民が訪れる市施設に設置することで、継続的に県産材に触れてもらい、事業効果を得る。

### (3) 普及性

設置した木製ベンチは、老若男女問わず利用することができるため、普及効果は大きい。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

本年度は計画どおり9基のベンチを設置し、県産材の有効活用及び普及啓発を図ることができた。

通算の設置基数は36基である。

### (2) 課題

設置した木製ベンチの維持管理についての検討が必要。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

設置要望が多く、まだ設置できていない箇所があることから、今後も継続して設置していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)